

日本内部監査協会発行資料の正誤表

当協会発行の下記資料に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

資料名	該当頁数	該当箇所	誤	正
内部監査の 品質評価 マニュアル 2017年版	45	上から6行目	調整すべきです	調整すべきです。
	45	上から7行目	評価実施自らの、	評価実施者自らの、
	45	上から8行目	この作業は、評価実施と、	この作業は、評価実施者と、
	A-37	下から4行目	リスクを最高経営者が受容していると	リスクを経営管理者が受容していると
	A-40	5. 1行目	アシュランス業務の計画策定プロセスと	アシュランス業務の計画策定プロセスと
	C-38	a. i.	顧客との関係（例えば、パートナーとしての関係の構築、自己評価への支援、マネジメント・プロセスに関するコンサルティングなど）。	全社的リスクおよびガバナンスの概念について、どのように教えていますか。
	C-38	a. iv.	内部監査部長は、	内部監査部門長は、
	D-20	キーとなる適合性の規準：「基準」1300（品質のアシュランスと改善のプログラム）A. 1行目	内部監査部門長は、内部監査部門を取り巻くすべての	内部監査部門長は、内部監査部門を取り巻くすべての
	E-2	上から5行目	個々の「基準」（例えば、1000、1010、2000、2010等）、	個々の基準（例えば、1000、1010、2000、2010等）、

本マニュアル付録のCD-ROMを使用してインタビューを行われる場合は、該当箇所を上記の正しい設問に入れ替えてお使いください。